

2023年(令和5年)

第46号

(3月15日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会
発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
編集委員長：渉外広報 植田恭司
〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

教団創立 85 周年記念式典 ～京都教会からも功労者表彰～

3月5日、教団創立85周年記念式典がインターネット配信によって行われ、京都教会法座席にも150名ほどの会員が参拝しました。

式典は奉献の儀、光祥さま導師による読経供養、國富教団理事長挨拶、功労者表彰、体験説法と続きました。その後、来賓祝辞、庭野会長のご法話がありました。



滋賀教会	梅田 欽昭
滋賀教会	山藤 高代
京都教会	上杉 益代
京都教会	竹岡 千賀
福知山教会	小松 啓乃
福知山教会	眞下 友紀子

京都教会	石川 加
松阪教会	瀬戸崎 沙衣
滋賀教会	原 千陽
京都教会	清水 里江子
舞鶴教会	平山 りえ
福知山教会	谷 充代
大阪教会	西橋 香代江

本部の配信後は今回、功労者として教会役員表彰に上杉益代さん、竹岡千賀さんが、会員特別表彰に清水里江子さんが表彰されことを受け、セシモニーが行われました。共にお役をされてきた方から3名にそれぞれ「感謝の言葉」が述べられ、表彰者3名も「お礼の言葉」がありました。参拝者からは終始、温かい拍手が贈られました。

その後、中村教会長はお言葉の中で、本部式典での来賓の菅野管長の祝辞にふれ、「母の声、母の手を通して日蓮聖人の声や釈尊の声が聞こえたことが真理、法

に繋がっていく。母や手を取って下さった人のぬくもりのお陰で私たちは今日の幸せを頂いている。これが創立の日の大事です」とかみしめられました。

また庭野会長のご法話にもふれながら、「開祖さまのみ教えに出会ったからこそ、私たちは自分自身を発揮できている。そして成仏への道を歩んでいる」と語り、会長先生に倣って『元気』でほがらかでありたいと述べました。さらに、「みんなが天下一品の命を頂いており、この命の尊さを法華経は説いていること。一人でも多くにご法を伝え、お導きしていくことが大切で、これからも元気で生き生きと開祖さま、会長先生のみ跡を私たちは歩んでいきたい」と精進を促され結ばれました。

法座席後方には創立85周年を記念して、お祝いや感謝のメッセージを掲載するボードが設けられ、多くの会員が記入しました。



天皇盃第34回全国車いす駅伝競走大会 ～青年部が大会運営を支えた～

天皇盃第34回全国車いす駅伝競走大会が3月12日、国立京都国際会館から西京極のたけびしスタジアム京都までの5区間21.3キロで行われ、京都教会青年部が運営スタッフとして大会を支えました。新型コロナウイルスの影響で中止が続き、4年ぶりの開催となり、参加数は過去最少の15チームとなりました。

青年部員は大会前日の11日からボランティアに参加。この日は全国から自家用車で会場入りする選手を国際会館駐車場で受け入れ。選手自らが遠方から運転されてきました。大会当日の12日、朝早くからたけびしスタジアム京都の中央広場に集合。宝ヶ池のプリ

ンスホテルを出発した常用車いすの受け入れを行い、区間ごとに仮置きする作業を行いました。

ユース21 京都が提供する現地手作りの“豚汁”で英気を養った後は、京都バスで昨日と同様の国際会館駐車場へ移動。レースを終えた選手を受け入れ、降車介助を行いました。

ボランティアに携わった青年部員はのべ25名。参加した部員からは「人の役にたって喜んで貰おう!」と思って参加したけれど、選手の皆さんに『ありがとう』と声をかけてもらって、こちらが元気を貰えた。また来年も是非参加したい」との声が聞かれました。

令和5年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/>